

年度	科目
00～03	2単位 1・2年次配当 書道Ⅰ①
99以前	2単位 1/2年次配当 書道Ⅰ①・書道Ⅴ①
三宅 高司	

〔テキスト〕

『入門書道 基礎から応用まで』

三宅相舟編著 雄山閣出版

〔基本項目〕

リ ポ ー ト	書式	
	ワープロ使用	
	課題の同時提出	
ス ク ー リ ン グ	前半部	
	後半部	
	全体部	夏期4期
単位認定試験		スクーリング試験

〔学習の内容〕

・基本理念

書が人間形成に欠かせない科目であることは、古来東洋人の伝統的心条であるとともに、実験心理学の立場からも証明されています。ところが戦後の能率主義・合理主義の歯車の中でその立場が学校教育として十分に保障されることがありませんでした。感情の薄い若い世代が多くなったことの一因がそこにあるかと思うのです。書道学習の真の修得は学と技を一体化して学ぶことにあります。テキストはこの両面を充たした形で構成されています。

免許取得を目的とする人にもそうでない人にも書が全人格を形成するための芸術であることを自覚した内容となっています。事前にしっかりと熟読してスクーリングに臨んで下さい。

通信教育生として書道を受講した人の傾向として、学の面ではこれを充足して修了する人が多いのですが、如何せん芸（技）の面で上達のゆるやかな人の多いのも実態でありま

す。いうまでもなく技術の習得には正しい執筆法・用筆法・運筆法による反復練習が必要であり、日常の継続的な学習態度が不可欠となります。随時、実技レポート提出方式ではなくスクーリングによる集中指導でありますから、それだけに平素の自主的・積極的な取り組みが要求されるでしょう。

スクーリング学習

〔講義内容〕

◆楷書 楷書はもと正書とか真書とか呼ばれた書体であり、心を正して謹厳にのぞむ書体です。何といたっても第一に『九成宮』を学ぶこととなります。テキスト49ページを先ず精読しておいて下さい。次に43ページの解説を読み、更に楷書に関わるページに目を通しておいて下さい。43ページの拓本を全字順を追って、半紙に「4～6字書き」していただきたいと思います。

書体終了時に一枚、課題を示して清書を提出していただきます。

◆行書 テキスト28ページの「行書について」を精読しておいて下さい。行書の古典を代表する『蘭亭序』を学びます。特に筆者王羲之についてはその人物像を深く探求し、書人としての理想像を浮き彫りにします。現代の実用書写においても最も使用される書体であり、その典範とされるものとして習熟したいものです。また近年重視される「漢字仮名交じりの書」を書く上での基礎的古典でもありますから、小筆で半紙に全臨することも指導します。

書体終了時に一枚、課題を示して清書を提出していただきます。

〔予習事項〕

（楷書）

テキスト43ページの「微風徐動」を半紙に書いてきて下さい。（一枚）

（行書）

テキスト25ページの「仰觀宇宙之大」を半紙に書いてきて下さい。（一枚）

※スクーリング1日目開始時に提出していただきます。楷書・行書ともに氏名は楷書で記入（毛筆）して下さい。（本文左端に縦書きで）

《スクーリング時に持参するもの》

①書道用具一式

◆楷書・行書

大筆（中鋒・兼毫の標準のもの）・小筆（唐筆が好ましい。禿筆はいけません。）

墨は液墨（墨汁）。家庭学習では磨墨するのが好ましい。

硯は、液墨を使用するため墨池でよい。無論、標準硯でもよいが硯面を清潔にしておいて下さい。

紙は画仙半紙に限ります。（パルプ紙は不可）

②テキスト

③字書は『五體字類』（西東書房）など。

④楷書課題・行書課題

⑤文鎮・下敷・筆巻・紙挟みなど。

〔備 考〕

スクーリング終了時の単位認定試験について

スクーリング終了後の課題提出により評価します。スクーリング終了時に各書体ごとに課題と枚数が示され、受講者は定められた期日までに提出し、それによって採点します。

書道は実技科目であることから、スクーリングで受けた指導をもとに十分練習したものを単位認定試験（スクーリング）として提出し、単位を修得するものとします。

なお、スクーリング中に、書体ごとに1枚の清書を提出して評価の基準とします。

◆楷書・行書、それぞれ指定された枚数分をまとめて綴じ、定められた表紙を付けて提出して下さい。

◆提出日時については、スクーリング終了時に発表して下さい。提出期限までに提出しない場合は、スクーリングの単位は認められません。単位が必要な場合は、再度スクーリングを受講するものとします。

◆指定された範囲と枚数分が提出されない場

合は、単位は認められません。

◆単位認定試験（スクーリング）として提出した半紙等は、原則として返却しません。

◆スクーリング中に提出したものと、単位認定試験（スクーリング）として提出されたものが著しく異なり、本人が書いたものと判断しかねる場合は、大学へ来ていただきその場で清書していただきます。

## 成績評価基準

楷書課題

行書課題

①規定の量を充たしてあるか

②課題（古典）の用筆法の習得度について

③課題（古典）の運筆法の習得度について

④字粒の大きさ・字形・位置などの布置・章法について

⑤熟習による線の練度について

⑥筆力（筆意・筆勢）の習得度について

※気韻生動しているか

以上の項目を精査して評価します。